

留 学 報 告 書

記入日:2016年1月20日

所属学部／研究科・学科／専攻	商学部 商学科
留学先国	アメリカ合衆国
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: アイオワ大学 現地言語: The University of Iowa
留学期間	2015年8月～2015年12月
留学した時の学年	3年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	3年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	経営学部 <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2015年12月24日
明治大学卒業予定年	2017年3月

留 学 先 大 学 に つ い て	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期:8月下旬～12月中旬 2学期: (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	
創立年	

留学費用項目	現地通貨(US\$)	円	備考
授業料	0	0円	
宿舍費	3,000	330,000円	
食費	1,740	191,400円	
図書費		円	
学用品費		円	
教養娯楽費		円	
被服費		円	
医療費		円	
保険費		100,000円	形態:キャンパスサポートから
渡航旅費	900	100,000円	ボストンキャリアフォーラムに参加
雑費		円	
その他		円	
その他		円	
その他		円	
合計	5,640	721,400円	

渡航関連

渡航経路: 成田⇒デンバー⇒シーダーラピッズ

渡航費用

チケットの種類	エコノミープラス
往路	300,000
復路	往復で購入
合計	300,000

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

キャンパスサポートを利用。現地ではメガバスやエクスペディアを利用。

滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎など)

学生寮

2)部屋の形態

個室 OR 相部屋(同居人数 2人)

3)住居を探した方法:

渡航前に大学から寮に関する情報提供があった。寮の場所も含め、エアコンやキッチンなどの設備に対して希望を出し、大学側が最終的に決定する。早く申請すれば1人部屋も可能。

4)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

感想というより、アイオワ大学に留学する人へ情報提供をメインとする。少し離れたところにtargetやwalmartがあるので、生活必需品に困ることはなかった。大学内はバスで移動することがほとんどであり、前述した大型スーパーにも行くことが可能である。寮にはバスルームとキッチンが完備されていた。キッチンに関しては学食で食事をする人が多いことからほとんど使わないが、お湯を沸かしたりできるため割と便利である。ベッドはマットがあっただけであり、到着後にwalmartなどで購入する必要がある。ルームメイトとはしっかりとコミュニケーションをとって、自身の考えや主張を伝えることが大事である。またアイオワ大学の日本語を学びたい学生が集まるクラブも存在する。日本語をしっかりと話せる中国人もいるし、顔を出しておくイベントやご飯にも誘ってくれる。現地には日本人はほとんどおらず、このクラブにも数人程度しかいない。メンバーの大半はアメリカ人や中国人である。

現地情報

1)現地で病院にかかったことはありますか? 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか?

利用する機会が無かった
 利用した:

2)学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

ルームメイトや現地の友人。大学関係であれば、オリエンテーション中にもらえる連絡先一覧やネットから担当部署のメールアドレスや電話番号を調べ、コンタクトを取った。直接オフィスに向くこともできる。また交換留学生担当の職員もいるのでその人に連絡するのもよい。

3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

オリエンテーションで注意喚起される。食堂で折り畳み傘の盗難にあった程度ではあるが、日本とは違うことが多いので大学構内でも気を抜かないことが必要。

4)パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。

(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWiFi接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

基本的に大学内であればWiFiが使えるので困ることはなかった。

5)現地での資金調達はどのように行いましたか? (例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

現地で銀行口座を開設した。最初の一週間のオリエンテーション内で口座を作るように言われる。学費の引き落としもここから行われる。銀行に行き、その旨を伝えれば職員が対応してくれる。クレジットカードでは学費は払えないので注意しておく必要があるが、現金での支払いが可能。出発前に国外送金の方法を両親などと確認しておくこと、慌てることはないと思う。支払期日が最初の月だけ異常に早いので注意しておく必要がある。学費以外での現地での生活はクレジットカードを活用。現金を持ち歩く人はほとんどいない。

6)現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。

基本的なものは手に入る。日本の商品も近くにアジアの食品を扱ったお店があり、値段は少々高いが手に入れることも可能である。最初の一週間が過ごせる程度に準備しておけば問題ない。

卒業後の進路について

1) 進路
<input type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input checked="" type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:
2)進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など
3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)
4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスがありましたらお書き下さい。 (例:留学中の就職活動へ向けた準備, 帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。)
私はポستنキャリアフォーラムに参加した。御縁もあって日系大手からいくつか内定を頂くことができたが、非常に厳しい3日間であったと思う。事前申し込みしても面接すらできない企業が多々ある中で、締め切り期限の早かった企業だけが当日面接を行ってくれた。このイベントでは明治大学よりも優秀な大学に在籍する学生が多く集まっており、彼らは幼少期に海外で過ごした帰国子女や海外大学に正規学生として在籍する日本人であった。ネット上にはポジティブな内容ばかりが掲載されているが、独特な経歴などがない限りは大企業との面接すらかなわないのが現実であった。いい経験にはなるが、大金をかけなければならないことを考えると推奨はできない。
5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)がありましたらお書き下さい。
7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスがありましたらお書き下さい。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
12 単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Advertising theory	広告論
科目設置学部・研究科	Marketing
履修期間	秋学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	授業とグループワーク(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に75分が2回
担当教授	Jing Wang
授業内容	広告に関する知識全般
試験・課題など	中間考査:1回 チームプレゼン1回
感想を自由記入	授業では毎回クリッカーを用いた小テストが実施された。中間テストはマークシート形式なので勉強していれば問題なし。チームを組んで企業を一つ選び、競合製品との差別化や広告の作成を行う。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
International Marketing	国際マーケティング論
科目設置学部・研究科	Marketing
履修期間	秋学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義とグループワーク(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に75分が2回
担当教授	Cathy Cole
授業内容	国際的なマーケティング戦略について、実際の多国籍企業のケースを用いながら授業を行う。
試験・課題など	中間テスト:2回 期末:1回 プレゼン:1回
感想を自由記入	テストではペーパーを一枚持ちこんでよかったので、比較的簡単だった。グループワークではローカル企業を選択し、その海外進出戦略を練る。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
ESL Oral communication	
科目設置学部・研究科	
履修期間	秋学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に50分が3回
担当教授	Douglas Cole
授業内容	プレゼンの練習。
試験・課題など	プレゼン4回。ディスカッション2回
感想を自由記入	海外でのプレゼンのスタンダードを学ぶことができた点で非常に有意義であった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
ESL Listening	
科目設置学部・研究科	
履修期間	秋学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に75分が2回
担当教授	Kristin Ho
授業内容	授業をどのように聞くのかを学ぶ。
試験・課題など	試験が3回。
感想を自由記入	授業の受け方のような内容も多く、リスニング能力向上の講座ではない。そうした意味ではあまり受講する意味はない。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例：語学試験の勉強、選考、出願、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等（形式は箇条書きなど簡単なもので構いません）

2014年 1月～3月	TOEFL 対策開始
4月～7月	
8月～9月	TOEFL IBT score 取得・出願
10月～12月	派遣決定
2015年 1月～3月	語学留学
4月～7月	
8月～9月	出発
10月～12月	中間考査・期末考査
2016年 1月～3月	帰国
4月～7月	
8月～9月	
10月～12月	

留学体験記

留学しようと決めた理由	学部一年生で参加したインターンで海外からの留学生と共に課題に取り組んだことがきっかけでした。彼らの意見の多様性や積極性といった部分に刺激を受けたと同時に、自身も異なる価値観を持つ人々と共に同じ目標を持ち、それを達成したいと考えるようになりました。アメリカを選んだのは英語を話せることは将来、自身の選択肢の幅を広げると考えたからです。もともと自らの考えを基に行動するタイプでしたので、自分の意見をしっかりと持っている外国人とのコミュニケーションの取り方は不安でした。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	語学能力、特にリスニングとスピーキングに関しては力を入れておくべきだったと考えます。何をしても現地の人々とのコミュニケーションは必要不可欠ですし、授業もその2つの能力があれば問題ないと思います。またビジネスを専攻する学生は日系企業についての知識を蓄えておくべきでしょう。実際、TOYOTAなどの企業について数多く質問されました。自身の専門に関する知識は事前に調べ、どのように伝えるのか、単語等も調べておくべきだと思います。
この留学先を選んだ理由	日本人の数が非常に少なかったからです。現地であった日本人の数はごく少数でしたし、ビジネスを専攻していた日本人は私一人でした。どうせ行くなら厳しい環境を自分の力で乗り越えたいという思いが強かったのだと思います。
大学・学生の雰囲気	非常に落ち着いていると思います。大学全体が一つの町であるということもあり、お店に行っても非常に親切に接してもらえます。学生を含めた町の住民がアメリカンフットボールに非常に興味があり、試合の前日と当日は非常に盛り上がります。夜にはバーやクラブに行く学生も非常に多いです。町を一步出れば広大なトウモロコシ畑であるので車があれば非常に便利です。中国からきている留学生が多く、よく中国人に間違えられます。
寮の雰囲気	一日を通して落ち着いていました。階ごとにレジデンスアシスタントがいて、定期的に集会や交流会なども開かれていました。私が滞在していた寮にはジムがあったほか、小さいコンビニや学習スペースも設けられていました。2週間に一回ほどイベントが企画されていて、友人を作るいい機会でした。
交友関係	初日にブラジルからの留学生と仲良くなれたことで、交流の輪が広がりました。またアメリカ人のルームメイトが私のことを非常に気にかけてくれていたこともあり、友人は非常に多かったです。大きなジムが大学内にあるのでそこへ一緒に通ったり、夜通しバーでお酒を飲んだこともよくありました。そういう意味では友人に恵まれた留学生活であったと思います。1人友達を作ってしまうと、カフェテリア等で相席して交友関係を広げればいので、最初が肝心だと思います。
困ったこと、大変だったこと	圧倒的に語学力が足りていなかったことです。TOEFLで点数を取っていたとしても、実際のコミュニケーションのスピードは格段に速いです。特に現地の学生は、留学生が英語をきちんとしゃべれ、コミュニケーションが円滑にできると考えていますので、初対面の人と話したりすると、時々何をしゃべっているかわかりませんでした。またグループワーク等で議論をするときはさらにスピードが上がっていたので、ほとんどわからない状態の日もありました。
学習内容・勉強について	専攻はマーケティングでした。授業の基本はレクチャーとグループワークで形成されています。したがって他の学生とコミュニケーションを取る機会が多かったです。個人的にはオフィスアワーを活用して教授とコンタクトを取り、レクチャーの内容の理解を深めたり、事前にグループワークのテーマを聞き、意見をまとめるようにしていました。また専門の授業を履修している生徒は4年生が多く、知識の面で圧倒的に不利なので、予習復習は欠かせないと思います。
課題・試験について	課題も試験も大したことはありませんでした。実際、単位を落としたことはありませんでしたし、形式自体もマークシートが多かったので、量・質共に日本での試験や課題のほうが大変だったと思います。ただ、授業によりけりだと思いますので、履修登録の際にアドバイザーに確認しておくべきだと思います。

大学外の活動について	基本的にはジムで体を動かしたり、競泳用のプールがあったのでそこで泳いだりしていました。バスケットコートは数多くあるのでたまに友人たちと遊んでました。日本人と日本人と友達になりたい人から組織されている団体もありましたので、そこでのイベントなどにも参加していました。
留学を志す人へ 「これを知っておいて欲しい」と思うこと、アドバイス等	留学した理由を忘れないことだと思います。留学中は慣れないことばかりですし、日本では考えられないアクシデントなども起こります。正直、到着したその日に寝具を買いに行くことになるとは考えていませんでした。学業以外にも困難な状況に直面するとは思いますが、その時に歯を食いしばって状況を打開することこそが大きな成長につながると思います。アイオワ大学やポストンキャリアフォーラムに関するご質問等あれば、国際教育事務室から気軽にコンタクトしていただければと思います。

1週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中		授業	授業	授業	授業		
						勉強	勉強
午後		授業		授業			
	授業	ジム・プール	授業	ジム・プール	ジム・プール	ジム・プール	ジム・プール
夕刻							
夜	勉強	勉強	勉強	勉強	外出	外出	

